

# 日本自動車機械工具協会

# オートサービスショー2017

日本自動車機械工具協会は1~3日、東京ビッグサイトで「第35回オートサービスショー2017」を開催した。これは国内最大の自動車整備機器の実演展示会で、今年の来場者数は3万8298人と、前回(2015年)の来場者数を1741人上回る規模となった。今回は「伝えよう、次世代の車社会を」をテーマに、進化する整備業界のニーズ、また、作業の安全や環境にも配慮した最新の自動車整備検査機器・設備・システム等が数多く展示された。本紙では、小野谷機工、モビリティプラス、空研の3社のブースの模様をレポートする。

## 小野谷機工

小野谷機工(株)は、従来品と展示会用に準備したコンセプトマシーンの15種のほか、屋外では新型のロードサービスクーラーを展示した。

国内唯一の国産のタイヤサービス機器メーカーであることアピールするべく、展示機器には日本を象徴するサクラ色のペイントが施された。

セミオートPCチェンジャー「アルマックス EXCEED-Easy Concept II」は、テーブル方式によるレバーレスでのオ

## オートマチックを実現。

ペダル操作で交換作業を進めることができるので軽労化にも貢献する。コンセプト機のため発売時期はまだ未定だが、同社では今後ユーザーの意見を探り入れながら改良を進めていく、としている。

## オートマチックTBチェンジャー「プロフトTB-881RS PLUS」は、

ボタンを押すだけで全自動運転で大型タイヤを簡単に交換することができる。セットリフトを新たに搭載したこと

でセッティング作業の負担を軽減させたほか、レーザーセンサー

も搭載し、より正確なチャッキングも実現した。

S・WアクションTBチェンジャー「プロフットTB-881RS PLUS」は、ボタンを押すだけで全自動運転で大型タイヤを簡単に交換することができる。セットリフトを新たに搭載したこと

## 次世代を担う機器集う

## 昨年上回る来場者数に

としている。



パートナー LT-2017



プロフト TB-881RS PLUS



開会式の様子



アルマックス EXCEED-Easy Concept II

ンセプト機のため発売時期は未定である。さらに屋外にはロードサービスクーラー「RS

